

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・春節にともない中国人を始めとした外国人観光客による販売量の増加、客単価の上昇により、売上が前年と比べて5割以上増加している。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・利用乗降客数の増加率が引き続き高い水準で推移している。2月25日現在で前年比117.6%となっており、4か月連続で前年を上回る状況が続いている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・中国や台湾、香港、マレーシアなどからの観光客が増加していることで、ホテル、ドラッグストアが好調であった。ただ、他の業種は厳しい状態にある。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・販売量はそれほど大きく変化していないが、客単価が伸びてきており、その分、売上が好調である。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・営業面積を圧縮するなか、売上が前年比100%、来客数が前年比101%となった。また、冬から春への端境期であるにもかかわらず、定価品の売上が前年比101%となるなど、購買意欲の高まりも感じられる。ただ、外国人観光客による売上が前年比365%と下支えした結果であり、地元客の売上については回復しきっていない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数が前年並みに近づいてきている。ただ、売上がともなっていない。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・ガソリン価格が低下していることで、電気料金などの値上がりに対して一息つくことができ、少しお金に余裕が出てきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上はここ2か月間横ばいで推移しているものの、来客数は少しずつではあるが、確実に回復している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・冬から春先が変わってくるという北海道の時期的な要因もあるが、今月に関しては、周辺の他店も含めて、前月よりも販売台数が伸びている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・中国を始めとする近隣アジアからの観光客の利用が堅調であった。大型イベントや春節もプラスに作用した。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・12月から2月にかけて、荒天による航空機の欠航が多発しており、旅客数は前年割れで推移しているものの、ビジネス需要、観光需要ともに需要増の傾向は継続している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新規受注が増加している。新規顧客からの問い合わせも増加している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・今までの商材よりも品質が良ければ、多少価格が高くても商材を買う傾向が出てきている。客の傾向として価格重視から品質重視に移行してきている。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・住宅についてはまだ今一つという面もあるが、株価が堅調に推移していることで消費が徐々に回復しつつある。		
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・前年は2月の中旬から消費税増税前の駆け込み需要がみられていたため、今年は駆け込み需要がない分だけ、厳しい状況にある。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・依然として、客の様子はこれまでと同じ状況にある。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・自家用車や公共交通機関を利用する周辺住民の来街は、区域内の駐車場、バス乗降口、駅周辺の状況をみる限り、前月に引き続き減少しているものの、他地域ナンバーの車両や旅行バッグを持ち歩くアジア圏からのグループ観光客が前年よりも多くみられた。ただ、土産品や交通関連の売上は増加しているものの、観光客の増加にともない増加するはずのホテルや飲食関連については、目立った増加はみられない。この状況から、空港バスやJRで中心部に立ち寄り、買物をしているものの、宿泊に関しては近隣の温泉などに流れているとみられる。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・2月は悪天候の日も少なく、良い結果が出るとみていたが、実際にはあまり売上は良くなかった。ただ、消費税増税前の駆け込み需要があった前年と比べて、大きく売上を落としていないことから、期待を持てる状況にある。外国人観光客はさっぽろ雪まつりと旧正月の効果もあり、想像以上の入込となった。特に、旧正月の期間は商店街や百貨店が大混雑するなど、業績が好転していた。ただし、その一方で外国人観光客が立ち寄らないような店舗は苦戦している。	

一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・さっぽろ雪まつり、小樽雪あかりの路とイベントが続いたものの、天候が悪かったため、日本人観光客の増加はみられなかった。2月は2週目までは苦戦したが、春節の始まった3週目からは、中国人観光客の入込にも助けられて、売上は前年比で115%、前々年比で119%となった。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・2月の中旬から気温が上がり、3月中旬から4月並みの天候となったことから、冬物のクリアランス商材は前年の80%台にとどまったものの、春物の売上が前年を10%上回るなど、大きな伸びがみられ、全体の売上は前年比プラスに転じた。また、催事場で行った物産展の集客が非常に良く、来客数も前年を上回った。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・客の買上率は上がっているものの、そのほとんどが外国人観光客によるものである。特に、さっぽろ雪まつりや春節を理由に来道した中華圏からの客が中心となっており、道内客の一般消費に変化はみられない。
百貨店（役員）	販売量の動き	・今回は輸入ブランドの売上が好調であったが、店舗によってばらつきがあり、全体的に良くなっているとは考えにくい状況にある。ただ、北海道の地方都市にも外国人観光客による買物がみられるようになってきている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の動向に変化がみられない。
スーパー（企画担当）	来客数の動き	・加工食品、コーヒー、乳製品などのメーカーからの相次ぐ値上げ要請で、ほとんどの商品が値上げ分を価格に転嫁せざるを得ない状況にある。特売価格も上げざるを得ない。脱デフレには良いかもしれないが、客の財布のひもは固くなる一方である。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・前年10月ごろから夜間の来客数が減少しており、特に酒やたばこなどの免許品の売上が大きく減少している。電気料金の値上げ時期と重なっていることから、客の節約志向が強まっていることがうかがえる。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・1月と比較して来客数が2%ほど回復しているが、売上にはほとんど変化がみられない。酒やたばこ以外の無免許品が買物の中心となっているなど、消費の回復が遅れており、単価も付いてきていない状況にある。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・原油安や株価上昇の影響により、多少は景気が良くなっている。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・単価の高い商材の動きが悪い。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年であれば、繁忙期に当たる時期であるものの、例年に比べて低調に推移しており、繁忙期らしさが感じられない。
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・消費者のマインドがなかなか上向いてこない。客の動きをみると、来店する客が徐々に増えてきているが、受注に結び付いていない。
自動車備品販売店（店長）	競争相手の様子	・2月の売上が前年の80%台となっているなか、タイヤとオーディオに関しては前年の60%台にとどまっており、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動が感じられる。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・2月は悪天候と営業日数の少なさから、厳しい月であった。マスコミなどで悪天候時に外出しないよう呼びかけていたことも影響している。
観光型ホテル（役員）	来客数の動き	・冬期間のイベントや春節にともない多くのアジア系観光客が宿泊したことで、全体の宿泊客数が増加し、業績が上向いた。一方、ツアー客を中心に国内客が漸減傾向にあることが、今後への懸念材料となっている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・高額商材と極端に廉価な商材の販売が目立っており、中間帯の商材の人気はかばかしくない。また、海外旅行については、イスラム国関連の影響により、ヨーロッパを中心に落ち込みがみられる。
タクシー運転手	来客数の動き	・年末年始から2月にかけて、来客数が前年並みで推移しており、良くも悪くもない状況にある。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新サービスについて、札幌圏から離れた地方での購買や買換えの動きが想定よりも低調であるため、全体としては変わらない状況にある。
パチンコ店（役員）	単価の動き	・2月後半から原油価格が上がってきているため、これから一般家庭で買い控えが進むことが懸念される。

	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・季節的に公共工事などが動いていないため、輸送量が増加してこない状況にある。
	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・今のところ、分譲マンションのモデルルームへの来客数に大きな変化はみられない。その結果、分譲マンション市場に大きな動きはみられず、大変落ち着いた状態にある。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・地方の土産店においても、外国人観光客の利用が増加しており、客単価が上がっている。北海道の土産品には魅力のある商材が多いため、爆買いとまではいえないものの、販売量が増加している。
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動が2月からみられている。来客数は前年と比べて微減にとどまっているものの、客単価が悪化している。特に、高級既製服、宝飾品、時計などで苦戦していることが客単価の低下につながっている。また、例年よりも暖かく、雪の少ない天候のため、婦人服を中心にニットなどのミドルウェアが苦戦している。
	スーパー（役員）	販売量の動き	・ここ数か月、来客数が1～2%増加しているが、客1人当たりの平均買上点数は減少している。客単価は前年並みを維持しているものの、商品単価の上昇によるものであり、その分、買上点数が減少している状況にある。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・2月は毎週のように週末が暴風雪に見舞われたことで、客の外出が少なくなり、売上は前年を20%下回った。また、灯油などの暖房費の上昇が家計を圧迫している。
	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・購買意欲がわくようなヒット商品がなかなか出てこないため、消費税増税前や地上デジタル放送移行時に主な商材を買換えた客の動きが鈍い。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数をみると、例年の2月の平均を下回っている。
	家電量販店（地区統括）	販売量の動き	・前年にみられた消費税増税前の駆け込み需要が今年はないため、全体的に前年よりも落ち込んで推移している。さらに、少子化の影響でシングル需要も年々減少傾向にある。全体としては微減で推移している。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・2月前半は悪天候のせいもあり、売上が前年を15%下回って推移するなど、心配な状況にあったが、後半から盛り返し、微増ではあるものの、前年を上回った。当地も外国人観光客が増えており、特に中国人の姿が目立った。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・ランチの売上が少し伸びたものの、夜の売上が悪く、全体としては前年よりもやや悪かった。一部の客から、前月は荒天で来られなかったとの声も聞かれた。各ホテルでは、アジア人観光客の増加によりレストランの朝食が混雑しているが、残念ながら当店の昼夜営業には影響がみられない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・2月はさっぽろ雪まつりなどのイベントの効果で外国人観光客が増えているが、タクシーの利用増加にはつながっていない。また、2月は天気が良く、暖かい日が多かったため、地元客の利用も前年と比べて減っている。
タクシー運転手	販売量の動き	・2月については、冬期間の季節需要があるにもかかわらず、前月、前々月と同様の状況であった。乗務員不足により稼働率も落ちており、結果的に全体の売上が落ち込んでいる状況が続いている。	
タクシー運転手	販売量の動き	・2月の当地は雪が少なく、暖かい日が多かったため、売上が伸びなかった。3か月前との比較では2%の減少となっているが、前年との比較では約6%も売上が落ち込んでいる。	
悪くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・2月は悪天候の影響も重なり、売上、販売量ともに前年比80%台後半の結果が見込まれる。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・4月からの北海道知事選や道議選、市議選の影響に加えて、ヨーロッパ方面の治安への不安、円安による割高感などから、熟年者を中心に海外旅行が激減している。
	タクシー運転手	販売量の動き	・タクシーの運行本数が減少している。特に夜間の減少が目立っている。

		美容室（経営者）	来客数の動き	・冬期での悪路や悪天候の影響により、景気は悪くなっている。
企業 動向 関連  (北海道)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・高付加価値タイプの商材の販売量が少し増えてきた。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・取引先にて過去最高の業績を記録するなど、非常に好調であるため、設備にも積極的に投資をしている様子がみられる。
	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が上向いている。ただ、民間の設備投資が増えている様子はあまりなく、公共投資による部分が多いことから、景気が良くなりつつあるとは手放しに思えない。むしろ、現在の特需のような受注が終わった時のことを考えると、先行きへの不安がより大きくなっている。	
変わらない	家具製造業（経営者）	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・中小企業や地方都市はまだ厳しい状況が続いているが、大都市圏の景気は堅調に推移している。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・国内製紙業における新聞紙、一般用紙などの需要は低迷しているが、段ボールは輸出を含め順調に推移している。飲料品、医薬品についても増加傾向にあり、生乳の生産量も3か月連続で前年を上回っている。
	金融業（企画担当）	それ以外	・建設業は公共工事のピークを過ぎ、一服感がある。外国人観光客は大幅に増加しているが、その影響は札幌を始めた道央圏にとどまっている。道東の観光施設は天候に恵まれず、客足が落ちている。個人消費は、ガソリン価格や灯油価格の下落が追い風になっているが、食品などの身近な商材が値上がりしているため、客の節約志向が強い。	
	司法書士	取引先の様子	・以前と比較すると、若干上向き傾向に転じているが、季節的に何ともいえない面がある。	
	司法書士	取引先の様子	・当地は雪国のため、積雪があるうちは土地の動きが鈍くなる。立地条件の良いマンションは完売となっているものの、せいぜい2～3棟程度のことであり、景気が回復してきたとの実感はない。また、4月に地方選を控えているため、当面、活発な動きはないとみられる。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	取引先の様子	・原油価格の下落により、一部の固定費が改善されてきているが、資材などのその他の固定費は依然として高値で推移しているため、収益が改善しきれない取引先が散見される。	
	やや悪くなっている	建設業（従業員）	取引先の様子	・数社の大手設備工事会社による不正行為に基づく営業停止期間が概ね終了したが、この間、工事の受発注に関する影響をほとんど感じることなく推移したほど、仕事量が減少している。
輸送業（支店長）		受注量や販売量の動き	・道内は季節的に需要が低迷している状況が続いており、主体となる大型陸上輸送部門のひっ迫感が以前ほどみられない。春先の需要期まで、当面は港湾在庫が過多となりつつある。	
司法書士		取引先の様子	・例年に比べて、土地の取得や春先の新築工事着工に向けての契約件数が少ない状況にある。	
その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）		受注量や販売量の動き	・前年11月から売上の前年割れが続いている。	
その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）		受注量や販売量の動き	・顧客である金属加工業の仕事量は確保されているが、購入意欲が乏しく販売量は低調に推移している。ただし、取引先の鉄骨加工業においては、本州方面の案件が急増していることで、今後への期待が持てる状況となっている。	
悪くなっている	○	○	○	
雇用 関連  (北海道)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が堅調に増加しているほか、派遣ニーズも増加傾向にあり、企業の営業活動が活発になっていることがうかがえる。当社に来社する求職者数も3か月前と比べて増えており、スムーズなマッチングにつながっている。

	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・求人は増えているが、企業の求める人材がなかなか集まらない状況にある。求人増は良い傾向ではあるが、企業ニーズに合致しない人材が職に就けておらず、あふれている。企業の目線は相変わらず高く、こうした課題を解消しなければ景気は回復してこない。
	求人情報誌製作 会社 (編集者)	それ以外	・2月に入り、特に介護、建設土木関連の業種で人手不足が深刻さを増している。業種、職種によって求人数に顕著な開きが出てきている。
	求人情報誌製作 会社 (編集者)	求人数の動き	・2月は業種により求人数がまちまちであり、医療介護が依然として人手不足から求人数が増加しているほか、スーパー、小売、生活関連サービスが微増となっている一方で、飲食店、娯楽、教育関連が減少、建設、運輸が横ばいでの推移となった。
	新聞社 [求人広 告] (担当者)	求人数の動き	・募集広告の売上が前年比105%と数か月ぶりに前年を上回った。例年、2月は介護などの医療関連の求人が最も多くなる月であるが、今年は前年を5割強も上回った。しかし、派遣、小売といった2～3番目に多い業種、職種がともに前年を2割下回ったほか、それ以外の業種も増減が入り乱れており、結果的には全体で5%の伸びにとどまった。
	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・求人数の増加傾向が続いている。新規求人数は前年を7.8%上回り、14か月連続での増加となり、月間有効求人数は前年を9.3%上回り、23か月連続での増加となった。
	職業安定所 (職 員)	採用者数の動き	・就職件数が2か月連続で前年を上回った。フルタイムでの就職も増えてきている。
変わらない	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年を5.7%上回り、60か月連続で前年を上回った。月間有効求人数も前年を6.9%上回り、60か月連続で前年を上回った。
	職業安定所 (職 員)	雇用形態の様子	・1月の新規求人数は前年を11.7%下回った。新規求職者数は前年を3.4%下回った。月間有効求人倍率は0.88倍となり、前年の0.87倍を0.01ポイント上回った。しかし、新規求人数のうち正社員求人の占める割合は47.1%と相変わらず低く、求人者と求職者の間における職種や労働条件のミスマッチも少なくないことから、依然として厳しい状況にある。
	学校 [大学] (就職担当)	採用者数の動き	・アジアからの観光客の増加により、ホテル、土産店、家電量販店などの関連業種が例年以上に好調であるため、雇用にも良い影響が出てくるのが期待できるが、海外から原材料を輸入している企業においては、価格への転嫁が難しく、苦しい状況にあるため、雇用への影響が懸念される。
やや悪く なっている	○	○	○
悪く なっている	—	—	—